

# 健康産業速報

FAX 通信

発行UBMメディア編集編集部  
本社〒100-0001東京都千代田区鍛冶町  
1-8-3神田区ビルディング  
TEL 03-52296110  
FAX 03-52296110  
週2回発行  
購読料 年間720000円  
半年400000円  
(郵便振替001901-1200833)

●この通信は購読者が直接利用される以外、「コピー」等による第三者への提供は固くお断りいたします。

帝京大・大野氏ら がん患者対象の試験解析

## アガリクスでQOL改善

長期摂取で確認、論文掲載

アガリクスの長期摂取によりがん患者のQOLが改善したとの臨床試験結果が、帝京大学医学部臨床研究医学講座特任講師の大野智氏らの研究で示された。「Complementary Therapies in Medicine」にこのほど論文掲載された。

この研究は厚生労働省がん研究助成金を用いた公的研究「がんの代替療法の科学的検証と臨床応用に関する研究」として実施していたもの。アガリクスの安全性には特段の問題がないとの結果が1年に報告されている。その後解析を進めて、今回、QOL改善に対するヒト臨床試験論文が同雑誌に受理・公表された。

試験は治療後経過観察中のがん患者を対象に実施。解析対象者は67人。S・S・Iのアガリクス・ブラゼイ・ムリル顆粒製品を6カ月間連日摂取してもらい、QOL(生活の質)改善への影響を調べた。1日摂取量は1袋(1.8g)が23人、2袋(3.6g)が22人、3袋(5.4g)が22人。

「SF-8」というQOLの評価スケールを用いて、アガリクス飲用前と飲用6カ月後のQOLスコアを比較した。その結果、8項目のうち5項目で改善を確認。男性は肉体的面の改善が多くみられたのに対し、女性は精神面の改善が多く確認された。また年齢別に解析したところ、65歳以下は精神面、66歳以上は痛み・機能など肉体的面の改善が多くみられたとしている。摂取量別では、2袋摂取群でより良い精神的・肉体的な改善効果が示されたという。

なおアガリクスの安全性については、食物アレルギー反応が1例みられたが、「従来の通りの安全性を支持する結果」がすでに報告されている。

半年にわたる長期摂取で、アガリクスのQOL改善についての有効性が示されたものの、作用メカニズムは不明という。大野氏はアガリクスについて、「安全性については、一般食品としてのアレルギーに気をつけなければ問題ないことが明らかにした」と指摘。またがん治療後のQOL改善に貢献できる可能性が示唆されたとし、効果を検証するために「次のステップとして、比較対照試験の実施が必要と思われる」と話している。